

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																											
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日		千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111																											
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																											
学校法人片柳学園		昭和31年7月10日		千葉 茂		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111																											
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																										
文化・教養	芸術専門課程	スポーツトレーナー科				平成25年文部科学省認定	-																										
学科の目的	スポーツ選手の障害予防・応急処置などを行うアスレティックトレーナー(AT)や様々な人たちにもっとも最適なトレーニング指導を行うパーソナルトレーナー(PT)を育成します。2年制ではATコースもしくはPTコースのどちらかを選択します。																																
認定年月日	平成27年3月31日																																
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																										
	2年	昼間	1,700	975	990	1,830	0	540																									
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																											
80人		81人	2人	2人	22人	24人																											
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 S:90点以上 A:80～89点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下不合格 P:単位認定																												
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:8月7日～9月9日 ■冬季:12月26日～1月6日 ■学年末:3月19日～3月31日			卒業・進級条件	【進級要件】 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 【卒業要件】 ①卒業年度の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること																												
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。			課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭、スポーツトレーナーとしての実習(競技大会など) ■サークル活動: 有																												
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) 株式会社ASFIT、株式会社SMART、株式会社グリッド、株式会社チキンジム、株式会社アークコア、ファイナポフィット、EXEED、かたぎり塾、リアルワークアウト、株式会社Lime、ディーオージー株式会社、ネイス株式会社、株式会社幼体連スポーツクラブ、株式会社グッドウェーブ、株式会社ラケットショップフジ、クレディテック株式会社、株式会社ファクトリージャパングループ、株式会社ケアレジデンス、株式会社ベストライフ、ソフトネットジャパン、株式会社オム・ザ・プラネット、株式会社Stirring、スポーツプラザ報徳 (主な業界:パーソナルトレーナー・フィットネストレーナー・介護予防運動・リラクゼーション・コンディショニングトレーナー)				主な学修成果(資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)																											
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本スポーツ協会公認AT</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>NSCA認定パーソナルトレーナー</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>JATI認定トレーニング指導者</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>健康運動実践指導者</td> <td>③</td> <td>16人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>日本赤十字社救急救員</td> <td>③</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	日本スポーツ協会公認AT	③	3人	0人	NSCA認定パーソナルトレーナー	③	22人	7人	JATI認定トレーニング指導者	③	1人	1人	健康運動実践指導者	③	16人	3人	日本赤十字社救急救員	③	0人	0人
	資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																													
	日本スポーツ協会公認AT	③	3人	0人																													
	NSCA認定パーソナルトレーナー	③	22人	7人																													
	JATI認定トレーニング指導者	③	1人	1人																													
健康運動実践指導者	③	16人	3人																														
日本赤十字社救急救員	③	0人	0人																														
■就職指導内容 担任・学科教員による複数回の個別対応、キャリアサポートセンターの指導、ビジネススキル授業で履歴書作成・自己分析・自己PR作成・業界研究・企業研究の指導・面接試験対策、学内企業説明会、就職内定者体験談での指導、就職エージェントによるセミナー				①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																													
■卒業生数 56 人 ■就職希望者数 50 人 ■就職者数 50 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 89 %				■自由記述欄																													
■その他 ・進学 6人 日本工学院八王子専門学校 鍼灸科、桜美林大学、国士館大学、明星大学、大原学園 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)																																	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 6名 ■中退率 5%</p> <p>令和3年4月1日時点において、在学者113名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者106名(令和4年3月31日卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の本来的理由 病氣療養・怪我治療、経済的理由 他</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組 担任と主任/科長による面談。懇談会・電話等による保護者との情報共有。 担任による指導のほか経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。 また、休学者にも復学(転科等)の指導・助言・相談も適時行っている。</p>
<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有</p> <p>【片柳学園入学金免除制度】 学校法人片柳学園の設置する学校の卒業生の子女、兄弟姉妹および孫、または在校生の兄弟姉妹が入学する際に入学金を免除する制度</p> <p>【若きつくりびと奨学金制度】 社会に貢献する人材のさらなる育成を目的に、学が意欲があり優秀な学生や経済的理由で就学が困難な学生に対し、返済不要の奨学金を給付する制度(成績優秀者特待生・課外活動優秀者特待生・資格特待生・就学支援奨学金・再進学特待生・留学生特待生)</p> <p>【再入学優遇制度】 日本工学院専門学校または日本工学院八王子専門学校の二年制学科以上の学科を卒業または卒業見込みの方が、本校の他学科への再入学を希望する際、入学選考料・入学金の免除、および審査により授業料等を減免する制度</p> <p>【留学生特別給付制度】 私費留学生の出願者全員を対象とし、入学選考試験の成績優秀者には進学支援として、入学金の一部または全額を免除する制度</p> <p>【ミュージシャン特待生】 ミュージックアーティスト科に特待生として出願し、試験に合格された方は、入学費用のうち入学金を免除する制度</p> <p>【サッカー・テニス特待生】 スポーツ健康学科・スポーツ健康学科三年制に特待生として出願し、試験に合格された方は、成績によって以下のいずれかを免除する制度 (入学手続時納入金免除、入学費用のうち前期授業料免除、入学費用のうち入学金免除、入学費用のうち入学金の一部を免除)</p> <p>【スポーツ特待生】 スポーツ健康学科・スポーツ健康学科三年制・スポーツトレーナー科・スポーツトレーナー科三年制に特待生として出願し、試験に合格された方は、成績によって入学費用のうち入学金または入学金の一部を免除する制度</p> <p>■専門実践教育訓練給付: 非給付対象</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 有</p> <p>特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構、平成25年度(平成26年3月31日)受審 <a href="http://www.neec.ac.jp/education/accrreditation/">http://www.neec.ac.jp/education/accrreditation/</a></p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p><a href="https://www.neec.ac.jp/department/">https://www.neec.ac.jp/department/</a></p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科令第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

スポーツトレーナー分野の就職を前提に企業等へのヒアリングを実施。実務に関する知識・技術等を調査しカリキュラムに反映させる。シラバスをもとに科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定めている。また業界動向を把握し、必要な資格取得や授業における学習評価を踏まえ、内容・方法等について検証する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、学科責任者、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、副校長、カレッジ長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
池田 つぐみ	NPO法人日本ストレッチング協会 理事	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	①
林 忠右	有限会社トレーナー・アローズ 院長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	③
手塚 千秋	合同会社Massive Impact 代表社員	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	③
千葉 茂	日本工学院八王子専門学校 校長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	
倉重 明	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 部長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	
坪井 勇次	日本工学院八王子専門学校 キャリアサポートセンター センター長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	
杉浦 晋	日本工学院八王子専門学校 科長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(3月・8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年7月26日 9:30～11:30

第2回 令和4年3月8日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

コロナ禍の影響で業界は厳しいが「人材は必要なため」という意見に対して、短期的・中長期的に分けて教育を実施をする。意見から「ITに強い」「人間力の向上」「可能な範囲で実習の強化」を図り、授業内容・実習の仕組みを変えた。

今まで同様「AT演習」「CPT演習」「健康運動演習」を中心に資格が必要との意見を頂き、授業や日々の指導の中で資格取得・キャリア形成について指導を重ねて実施していく。

就職(現在の求人)を考え、1年次にストレッチングの授業を導入した。

引き続き、自らトレーニングを実践し、職業の骨幹となる運動の素晴らしさを経験させ、職業観育成や専門性と人間力向上を目的とした「現場実習」を学内施設を利用・企業と連携しながら強化する。

中長期として、ICT・IOTを利用した評価やデータを蓄積し利用する事が可能なのではないかと意見もあり、継続して教員研修として実施している。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

### (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

公認アスレティックトレーナー資格等を有する専門家による知識・技術の指導に加え、実際の指導現場を想定した社会人基礎力の助言、協力の得られる企業を選定している。スポーツトレーナーの実務で必要な各種コンディショニングの手法を、実際の企業が実施する仕事内容を踏まえて実習に取り入れ、指導・理解させることを基本方針としている。

### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

企業(株式会社ルートヴィガー)との打ち合わせにより、職業人としてのスポーツトレーナーに必要な技能・実習内容や評価方法を設定し目標を明確にする。スポーツトレーナーの実務で必要な各種コンディショニングの手法を、実際の企業が実施する仕事内容を踏まえて指導・理解を目的とし「予防とコンディショニング2(30時間)」にて実施。スポーツトレーナーの必須スキルである各種コンディショニング実技に関して、施設を活用しながら実際にクライアントに実施しているノウハウを踏まえて学び、スポーツトレーナーとして必要なヒューマンスキルを含めて学習を進める。公認アスレティックトレーナーの資格を有する者による専門知識・技術の指導に加え、フィットネスチェック・フィールドテストを適宜実施し、レベル確認を行う。企業等の講師派遣による実施テスト評価に基づき教員が成績評価・単位認定を行う。

### (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
予防とコンディショニング2	コンディションの把握・管理・方法と実際について学びます。また競技特性に応じたコンディショニングや環境整備についても学びます。	株式会社ルートヴィガー

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

### (2)研修等の実績

#### ①専攻分野における実務に関する研修等

##### 1)研修名「動画作成のコツ」

(連携企業等:コードブック株式会社 執行役員 山本チャーリー周平)

期間:令和3年8月4日 10:00-11:30

学生でも出来る動画作成の指導と効果的なPR方法

##### 2)研修名「学生の学びをPRする方法」

(連携企業等:株式会社 クリーク・アンド社 神田雅章・大石直美)

期間:令和4年3月28日15:00-16:30

学生の成長一成果などのPR方法を学ぶ

#### ②指導力の修得・向上のための研修等

##### 1)研修名「学生指導力向上」

(連携企業等:株式会社ヒトスパイス 代表取締役社長 野本知里)

期間:令和3年7月28日 15:00-16:30

アンガーマネジメント

##### 2)研修名「近年の学生指導について」

(連携企業等:株式会社ヒトスパイス 代表 野本知里)

期間:令和4年3月25日10:00-12:00

学生指導のための教員力向上

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

1) 研修名「スポーツ×IOT・ICT」(案)

(連携企業等:テクノジムジャパン株式会社)

期間:7月～9月を予定

健康管理アプリの使用方法和授業への応用

2) 研修名「スポーツ×IOT・ICT」(案)

(連携企業等:テクノジムジャパン株式会社)

期間:12月～3月を予定

HRモニタリング機器の使用と授業への応用

② 指導力の修得・向上のための研修等

1) 研修名「学生指導のための教員力向上」(案)

(連携企業等:株式会社ヒトスパイス 代表 野本知里)

期間:7月～9月を予定

目標を持たせる・持ち続けるためのアプローチ①

2) 研修名「学生指導のための教員力向上」(案)

(連携企業等:株式会社ヒトスパイス 代表 野本知里)

期間:12月～3月を予定

目標を持たせる・持ち続けるためのアプローチ②

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	(2) 運営方針(3) 事業計画(4) 運営組織(5) 人事・給与制度(6) 意思決定システム(7) 情報システム
(3) 教育活動	(8) 目標の設定(9) 教育方法・評価等(10) 成績評価・単位認定等(11) 資格・免許取得の指導体制(12) 教員・教員組織
(4) 学修成果	(13) 就職率(14) 資格・免許の取得率(15) 卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	(16) 就職等進路(17) 中途退学への対応(18) 学生相談(19) 学生生活(20) 保護者との連携(21) 卒業生・社会人
(6) 教育環境	(22) 施設・設備等(23) 学外実習・インターンシップ等(24) 防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	(25) 学生募集活動(26) 入学選考(27) 学納金
(8) 財務	(28) 財務基盤(29) 予算・収支計画(30) 監査(31) 財務情報の公開
(9) 法令等の遵守	(32) 関連法令、設置基準等の遵守(33) 個人情報保護(34) 学校評価(35) 教育情報の公開
(10) 社会貢献・地域貢献	(36) 社会貢献・地域貢献(37) ボランティア活動
(11) 国際交流	

**(3) 学校関係者評価結果の活用状況**

学校関係者評価委員会会議の中で本校の行った自己点検の評価について  
評価委員からの主な意見は次のとおりで、それについての活用(対応)方法は以下のとおりとなります。

- ・コロナ禍の予測不能の事態や学生への対応が実に丁寧になされ成果を上げていることが理解できました。理事長を先頭に新たな取り組みも着実に進められていることに敬服します。
- ・SDGsに関連する学校としての取り組み。実質、関連項目や実施している事はあるかもしれないが、説明のなかで「SDGs」という言葉が出てこなかったもので、関連する内容には入れても良いと思います。
- ・各分野において情報は常に更新されているので、教職員の方々の知識・情報もアップデートが重要と考えます。月1回の研修の成果・効果を確認するような取組も検討してはいかがでしょうか。
- ・コロナ禍において情報の収集・管理については難しい点も多いと思いますが、校友会・卒業生就職先とのコミュニケーション強化に努めていただければと思います。
- ・既に検討されていることと思いますが、保護者会もオンラインで開催するなど遠方でも参加できるような取組をされてもいいかと思えます(環境によってオンラインが難しい場合などは個別に電話対応など。すでに実施されていたらご容赦下さい)。
- ・コロナ禍及びワクチン接種も個人の考えで必須に出来ない中、日本工学院八王子専門学校様の対応を含めた活動は非常に参考となり、勇気をもたらえるものでもありました。政府が明確な線引きをしていない現状では、企業も学校も探りさぐりにはなってしまいますが、多角的な面で情報交換を行い、この状況を乗り切っていければと思います。
- ・丁寧なご説明有難うございました。コロナ禍において、教育目標に掲げる「スチューデントファースト」を実現することは容易ではないと思えますが、製作室や実習等の新設などの取組みによって学生のモチベーションが上がることを期待します。また、私はテレビ技術会社の採用担当として、貴校からの応募者と毎年向き合っておりますが、近年、「どうしてもこの仕事に就きたい」という意気込みを持った学生さんが少なくなったように感じます。実際の現場で必要な技術は学校だけで習得できるものではありませんが、その魅力・楽しさをお伝えいただき、専門職に夢を持った「若きつくりびと」を多く輩出していただきたいと思います。
- ・教職員の研修も外部のオンライン研修などを活用してはいかがでしょうか。外部のコンテンツを利用することで学内コンテンツを増やすヒントになるのではないかと思います。
- ・コロナ禍において進路決定率が上がったことは素晴らしいことであったが退学率が上がっている学科が気になりました。
- ・株主総会もオンラインの時代ですので保護者会もオンラインで出来たのではないのでしょうか。
- ・工学院の名前に合ったネットワーク、ICT等の環境を整えて上げてください。
- ・時節柄、授業を実施する事や様々な学生支援に工夫をされている事が十分に理解する事が出来、いつものことですが、感心させられる事ばかりでした。今後は、学生への「心のケア」をして頂ければと思います。メンタルトレーニング的なものも取り入れても良いかと思えます。

以上、学校関係者評価委員会において討議された内容を踏まえ、次の4点について検討し活用する。

1. コロナ禍において、教育目標に掲げる「学生中心主義」を教職員一丸となり実行する。
2. 学生・保護者からの要望に応えられるよう、今後とも万全な体制を整える。
3. 質の良い授業(オンライン授業含め)を提供できるよう、教員のスキルアップのための研修等を充実させる。
4. withコロナの新しい時代における高専連携・地域貢献・地域連携を模索していく。

**(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿**

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社)	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	卒業生/ IT企業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 専務理事	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	地域関連
山本 哲志	株式会社フジ・メディア・テクノロジー 管理センター 総務部長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	クリエイターズ 企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	ミュージック 企業等委員
才丸 大介	株式会社カオルデザイン 執行役員 企画戦略室 室長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	デザイン 企業等委員
鈴木 浩之	株式会社田中建設 取締役 建築部長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	テクノロジー 企業等委員
池田 つぐみ	NPO法人日本ストレッチング協会 理事	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	スポーツ 企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野循環器病院 事務長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	医療 企業等委員

**(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期**

ホームページ 令和4年7月31日

URL:<https://www.neec.ac.jp/public/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2) 各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3) 教職員	教員・教員組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6) 学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7) 学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8) 学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9) 学校評価	学校評価、令和3年度の項目別の自己評価表
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

(3) 情報提供方法

ホームページ

URL:<https://www.necc.ac.jp/public/>



授業科目等の概要

(芸術専門課程スポーツトレーナー科)令和4年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
必修	選択必修	自由選択													
1	○		ビジネススキル1	社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。	1・前	30	2	○			○	○			
2	○		ビジネススキル2	社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。	1・後	30	2	○			○	○			
3	○		PC活用	コンピュータのしくみから基本操作までを学びます。	1・前	30	2		○		○		○		
4		○	MOS	マイクロソフト認定Word、Excel資格取得に向けて、必要な基礎知識を学びます	1・後	30	2		○		○			○	
5		○	ストレングス&コンディショニング理論1	ストレングス&コンディショニングプログラムを作成するための基礎知識を学びます(フィットネスエクササイズと安全も含む)。	1・前	30	2	○			○		○		
6		○	スポーツトレーナーの役割	アスレティックトレーナーとは何かを学び、コーチやスポーツドクターとの連携、組織の運営と管理などアスレティックトレーナー業務全般について学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
7	○		救急処置法	スポーツ現場で発生した傷害や疾病などの処置方法について学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
8		○	予防とコンディショニング理論	コンディションの把握・管理・方法と実際について学びます。また、競技特性に応じたコンディショニングや環境整備についても学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
9		○	運動器の解剖と機能1	上下肢および体幹部の基礎解剖学と運動学について学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
10	○		解剖学概論	骨格、筋肉、心臓、血管、呼吸器、神経などの構造と機能について学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
11		○	コーチ学	スポーツ指導者とは、指導者の心構え・視点、競技者育成プログラムの理念、指導計画の立て方、スポーツ活動と安全管理、スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任などについて学びます。	1・後	30	2	○							
12		○	ストレングス&コンディショニング理論2	目的に応じたストレングス&コンディショニングプログラムの作成能力やカウンセリング能力を養います。	1・後	30	2	○			○		○		
13	○		スポーツ医学概論	スポーツと健康、スポーツ活動中に多いケガや病気、アスリートの健康管理と内科的障害と対策、呼吸循環器系の働きとエネルギー供給、アンチドーピング、スポーツによる精神障害などについて学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
14	○		運動生理学	スポーツ活動と体力、運動体としての身体の構造と機能について学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
15	○		栄養学	スポーツと栄養、アスリートの栄養摂取と食生活について学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
16		○	アスレティック・リハビリテーション1	アスレティックリハビリテーションの考え方と運動療法の基礎について学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
17		○	アスレティック・リハビリテーション2	物理療法と補装具使用に関する基礎知識を学び、身体の各部位の外傷ごとのリスク管理に基づいたアスレティックリハビリテーションのプログラムと実践を学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
18		○	運動器の解剖と機能2	上下肢および体幹部の基礎解剖学と運動学について学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
19		○	トレーニング科学1	競技者育成と評価、競技者育成システムにおける指導計画、競技力向上のためのチームマネジメント、競技スポーツとIT、体力とは、トレーニングの進め方、トレーニングの種類について学びます。	1・後	30	1	○			○		○		



授業科目等の概要

(芸術専門課程スポーツトレーナー科)令和4年度																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
			○	スポーツ外傷・障害の基礎知識1	スポーツで起こりうる外傷全般と年齢・性別によるスポーツ障害の特徴、それに対する整形外科的メディカルチェックについて学びます。	1・通	30	2	○			○			○	
			○	資格対策1	AT・JATI・CPT資格取得のために対策講義・模試等を実施します	1・前	30	2		○		○			○	
			○	資格対策2	AT・JATI・CPT資格取得のために対策講義・模試等を実施します	1・前	30	2		○		○			○	
			○	資格対策3	AT・JATI・CPT資格取得のために対策講義・模試等を実施します	1・後	30	2		○		○			○	
			○	資格対策4	AT・JATI・CPT資格取得のために対策講義・模試等を実施します	1・後	30	2		○		○			○	
	○			ストレングス&コンディショニング実技1	準備運動、ストレッチング、補強運動、フィッネストレーニング、筋カトレーニング(マシントレーニング)、整理体操などの基本テクニックについて学びます。	1・前	30	1			○	○			○	
	○			メディカルトレーナー演習1	メディカルトレーナーに必要な基礎知識として、解剖学、運動生理学などを学びます。	1・前	30	2		○		○			○	
			○	予防とコンディショニング1	テーピングの手法について学びます。また競技特性に応じたコンディショニングや、環境整備についても学びます。	1・前	30	1			○	○			○	
	○			予防とコンディショニング2	コンディショニングの把握・管理・方法と実際について学びます。また、競技特性に応じたコンディショニングや環境整備についても学びます。	1・前	30	1			○	○			○	○
	○			陸上	陸上、ジョギング・ウォーキングの特性について理解し、年齢別に応じた的確な指導が行える能力を養います。	1・前	30	1			○	○			○	
			○	アウトドア実習A	オートキャンプ、カヌー、トレッキングなどのアウトドアライフの組立てについて、実習を通じて学びます。	1・前	30	1			○		○		○	
			○	キャンプインストラクター実習A	総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人へ伝えられるようにキャンプの基礎を学習します。	1・前	30	1			○		○		○	
			○	マリンスポーツ実習A	レベルに応じたサーフィン・ボディボードの基本技能を理解します。	1・前	30	1			○		○		○	
			○	初級ダイビング実習	スクーバダイビング「オープンウォーター」資格取得のために必要な知識技術について、講義と海洋実習を通じて学びます。	1・前	30	1			○		○		○	
			○	フィンワーク実習	プールにて3点セット(マスク、フィン、スノーケル)を使用し、フィンワーク(泳ぎ方、素潜り)技術を養います。	1・前	30	1			○	○			○	
			○	スイミング	水泳の特性について理解し、レベル別に応じた的確な指導が行える能力を養います。	1・前	30	1			○	○			○	
			○	ストレングス&コンディショニング実技2	マシンやフリーウエイトを使用した筋カトレーニング、サーキットトレーニング、アジリティトレーニングなどの基本テクニックについて学びます。	1・後	30	1			○	○			○	
	○			メディカルトレーナー演習2	メディカルトレーナーに必要な、エクササイズ指導のスキルを身につけます。	1・後	30	2		○		○			○	
			○	スキー実習A	レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	1・後	30	1			○		○		○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程スポーツトレーナー科)令和4年度														
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択												
		○	スノーボード実習A	レベルに応じたスノーボードの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	1・後	30	1			○		○		
		○	現場実習2	トレーナーがどのような役割を果たしているのか、基礎的な学びと実習体験を行います。	1・後	60	2			○	○		○	
		○	中級ダイビング実習	スクーバダイビング「アドバンスダイバー」資格取得のために必要な知識・技術について、講義と海洋実習を通じて学びます。	1・後	30	1			○		○		
		○	健康運動実践指導者対策1	生活習慣病予防のための運動実践について学びます。	1・後	30	2		○		○		○	
		○	MFCスタッフ実習1	MFC(メディカルフィットネスセンター)スタッフとしてトレーニング指導、スポーツクラブ運営などの実務経験を積んでいきます。	1・通	120	4			○	○			○
		○	スポーツトレーニング実習A	メディカルフィットネスセンターなどを週1回利用して、トレーニング実践方法について学びます。	1・通	30	1			○	○			○
		○	スポーツトレーニング実習B	メディカルフィットネスセンターなどを週1回以上利用して、トレーニング実践方法について学びます。	1・通	60	2			○	○			○
		○	スポーツトレーニング実習C	メディカルフィットネスセンターなどを週2回以上利用して、トレーニング実践方法について学びます。	1・通	120	4			○	○			○
		○	スポーツ自由研究A	スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。	1・通	30	1			○	○			○
		○	スポーツ自由研究B	スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。	1・通	30	1			○	○			○
		○	現場体験実習A	今まで勉強してきたことについて、総合的に学内外で実習します。	1・通	30	1			○	○			○
		○	社会体育実習A	学外などにおいて現場の実践的な経験やボランティア活動をし、指導者としての資質を高めます。	1・通	60	2			○		○	○	
		○	短期海外研修A	アメリカの州立大学などにおいて人体解剖、テーピング、コンディショニングなどの実習を体験し、最新のトレーナー教育についての理解を深めます。	1・通	30	1			○		○		○
		○	日本赤十字社救急法A	日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。	1・通	30	1			○	○			○
		○	AT演習1	現場実習での経験・知識を生かして、ゼミ形式で授業を行います。	1・通	60	4		○		○			○
		○	CPT演習1	パーソナルトレーナー(CPT)・JATI認定トレーニング指導者受験に向けて学習します。	1・通	30	2		○		○			○
	○		現場実習1	トレーナーがどのような役割を果たしているのか、実習を通じて学びます。	1・前	15	0			○	○			○
		○	キャリアアップセミナーA	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	1・通	15	0			○	○			○
		○	キャリアアップセミナーB	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	1・通	30	1			○	○			○

授業科目等の概要

(芸術専門課程スポーツトレーナー科)令和4年度														
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択												
		○	キャリアアップセミナーC	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	1・通	45	1			○	○			○
		○	キャリアアップセミナーD	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	1・通	60	2			○	○			○
		○	キャリア実習1	スポーツトレーナーとして活躍するために、企業などで実習を行います。	1・通	15	0			○		○		
	○		コーチング概論1	コーチングについてアクティブラーニング形式を中心に学びます。	1・前	30	2		○			○		
	○		コーチング概論2	グッドコーチに求められる医・科学知識や現場・環境に応じたコーチングを学びます	1・後	30	2		○			○		
	○		ビジネススキル3	社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。	2・前	30	2	○			○		○	
	○		ビジネススキル4	社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。	2・後	30	2	○			○		○	
	○		ストレングス&コンディショニング理論3	ストレングス&コンディショニング理論1・2で学んだ知識を活用しながら、パーソナルトレーナーとしての知識と総合力を養います。	2・前	30	2	○			○		○	
	○		スポーツ心理学1	スポーツと心、スポーツにおける動機づけ、コーチングの心理、メンタルマネジメント、指導者のメンタルマネジメント、スポーツ相談の意義、スポーツ相談の実際、子どもたちを取り巻く問題点と運動・スポーツの必要性などについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○
	○		バイオメカニクス	トレーニング理論とその方法、トレーニング計画とその実際、体力テストとその活用、スキルの獲得とその獲得過程、スポーツバイオメカニクスの基礎を学びます。	2・前	30	2	○			○		○	
		○	アスレティック・リハビリテーション3	競技特性に基づいたアスレティックリハビリテーションのプログラムについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○
		○	スポーツ経営学	スポーツ組織の運営、スポーツ事業の計画・運営・評価、地域スポーツクラブの機能と役割、広域スポーツセンターの機能と役割、地域におけるスポーツ振興方策と行政の関わり、我が国のスポーツ振興施策について学びます。	2・前	15	1	○			○		○	
		○	検査・測定と評価	アスレティックトレーナーに必要な評価・検査・測定の手法、スポーツ動作の観察・分析について学びます。	2・前	60	4	○			○			○
		○	スポーツと食事	アスリートの身体組成から始まり、からだ作りやトレーニングスケジュール、栄養管理・水分管理・サプリメントの留意点、特殊環境と栄養に関する疾病、アスリートへの栄養教育について全般的に学びます。	2・前	30	2	○			○			○
		○	トレーニング科学2	アスレティックトレーナーに必要なトレーニング科学を総合的に学びます。	2・前	30	2	○			○		○	
		○	健康教育学	発育発達期の身体的特徴、心理的特徴、発育発達期に多いケガや病気、発育発達期のプログラムなどについて学びます。	2・前	15	1	○			○		○	
		○	体力測定法	体力測定の方法、測定結果の処理、体力評価とスポーツプログラムについて学びます。	2・前	15	1	○			○			○
		○	障害者スポーツ	障害者に対するスポーツ指導法を学びながら、(財)日本障害者スポーツ協会初級スポーツ指導員の資格取得をめざします。	2・後	30	2	○			○		○	
		○	スポーツ心理学2	スポーツ相談の概念・目的、カウンセリングの理論と技術、スポーツ相談事業の企画と運営などについて学びます。	2・後	30	2	○			○			○

授業科目等の概要

(芸術専門課程スポーツトレーナー科)令和4年度																
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携	
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
		○	スポーツ外傷・障害の基礎知識2	スポーツで起こりうる外傷全般と年齢・性別によるスポーツ障害の特徴、それに対する整形外科的メディカルチェックについて学びます。	2・通	30	2	○			○			○		
		○	健康管理とスポーツ医学	感染症や特殊環境を含む、スポーツで起こりうる内科疾患を学び、年齢・性別によるその特徴と内科的メディカルチェック・ドーピングについて学びます。	2・通	30	2	○			○			○		
		○	資格対策5	AT・JATI・CPT資格取得のために対策講義・模試等を実施します	2・前	30	2		○		○			○		
		○	資格対策6	AT・JATI・CPT資格取得のために対策講義・模試等を実施します	2・前	30	2		○		○			○		
		○	資格対策7	AT・JATI・CPT資格取得のために対策講義・模試等を実施します	2・後	30	2		○		○			○		
		○	資格対策8	AT・JATI・CPT資格取得のために対策講義・模試等を実施します	2・後	30	2		○		○			○		
○			ストレングス&コンディショニング実技3	筋カトレニング、アジリティトレーニング、ランニングトレーニングなどの応用テクニックと指導方法について学びます。	2・前	30	1			○	○			○		
○			メディカルトレーナー演習3	メディカルトレーナーに必要な、全体の基礎的なスキルを身につけます。	2・前	30	2		○		○			○		
		○	アウトドア実習B	オートキャンプ、カヌー、トレッキングなどのアウトドアライフの組立てについて、実習を通じて学びます。	2・前	30	1			○		○			○	
		○	キャンプインストラクター実習B	総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人へ伝えられるようにキャンプの基礎を学習します。	2・前	30	1			○		○			○	
		○	マリン実習B	レベルに応じたサーフィン・ボディボードの基本技能を理解します。	2・前	30	1			○		○			○	
		○	上級ダイビング実習	スクーバダイビング「ダイブマスター」資格取得のために必要な知識技術について、講義と海洋実習を通じて学びます。	2・前	30	1			○		○			○	
		○	AT演習2	現場実習での経験・知識を生かして、ゼミ形式で授業を行います。	2・前	60	4			○		○			○	
		○	CPT演習2	パーソナルトレーナー(CPT)・JATI認定トレーニング指導者受験に向けて学習します。	2・前	30	2			○		○			○	
		○	健康運動実践指導者対策2	生活習慣病予防のための運動実践について学びます。	2・前	30	2			○		○			○	
○			メディカルトレーナー演習4	メディカルトレーナーに必要な、全体の応用的なスキルを身につけます。	2・後	30	2			○		○			○	
		○	スキー実習B	レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッチテストを実施します。	2・後	30	1			○		○			○	
		○	スノーボード実習B	レベルに応じたスノーボードの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	2・後	30	1			○		○			○	
		○	AT演習3	現場実習での経験・知識を生かして、演習形式で授業を行います。	2・後	60	4			○		○			○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程スポーツトレーナー科)令和4年度														
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択												
		○	CPT演習3	パーソナルトレーナー(CPT)・JATI認定トレーニング指導者受験に向けて学習します。	2・後	60	4	○		○		○		
		○	健康運動実践指導者対策3	生活習慣病予防のための運動実践について学びます。	2・後	30	2	○		○		○		
		○	スタジオプログラム	スポーツクラブでは主流のスタジオプログラム。パワーヨガ、マットピラティスなどその種類は多種多様です。スタジオプログラムの主要な運動についての知識、技術について基礎を学びます。	2・後	30	1			○	○			○
		○	フィットネストレーナー演習	メディカルフィットネスセンターなどを利用して、トレーニングルームの運営方法やクライアントとの接し方、法的問題について学びます。	2・後	30	2	○		○				○
	○		成果発表	在学中に学んだ成果事を基に、成果発表のための企画・準備・運営を実施します	2・通	90	6	○		○		○		
		○	MFCスタッフ実習2	MFC(メディカルフィットネスセンター)スタッフとしてトレーニング指導、スポーツクラブ運営などの実務経験を積んでいきます。	2・通	120	4			○	○			○
		○	インターンシップ1	スポーツ関連企業でインターンシップを経験します。	2・通	45	1			○		○		
		○	スポーツトレーニング実習D	メディカルフィットネスセンターなどを週1回利用して、トレーニング実践方法について学びます。	2・通	30	1			○	○			○
		○	スポーツトレーニング実習E	メディカルフィットネスセンターなどを週1回以上利用して、トレーニング実践方法について学びます。	2・通	60	2			○	○			○
		○	スポーツトレーニング実習F	メディカルフィットネスセンターなどを週2回以上利用して、トレーニング実践方法について学びます。	2・通	120	4			○	○			○
		○	スポーツ自由研究C	スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。	2・通	30	1			○	○			○
		○	スポーツ自由研究D	スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。	2・通	30	1			○	○			○
		○	現場実習3	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの規定実習を行います。	2・通	180	6			○	○			○
		○	現場体験実習B	今まで勉強してきたことについて、総合的に学内外で実習します。	2・通	30	1			○	○			○
		○	社会体育実習B	学外などにおいて現場の実践的な経験やボランティア活動をし、指導者としての資質を高めます。	2・通	60	2			○		○	○	
		○	短期海外研修B	アメリカの州立大学などにおいて人体解剖、テーピング、コンディショニングなどの実習を体験し、最新のトレーナー教育についての理解を深めます。	2・通	30	1			○		○		○
		○	日本赤十字社救急法B	日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。	2・通	30	1			○	○			○
		○	キャリアアップセミナーE	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	2・通	15	0			○	○			○
		○	キャリアアップセミナーF	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	2・通	30	1			○	○			○

授業科目等の概要

(芸術専門課程スポーツトレーナー科)令和4年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
115		○	キャリアアップセミナーG	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	2・通	45	1			○	○			○	
116		○	キャリアアップセミナーH	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。	2・通	60	2			○	○			○	
117		○	キャリア実習2	スポーツトレーナーとして活躍するために、企業などで実習を行います。	2・通	15	0			○		○			
合計						117科目	4335単位時間( 205単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目765時間(46単位)および選択科目935時間(29単位)以上取得し、合計1700時間(75単位)以上取得すること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週